

湯の丸地区におけるスマート水道メーターの実証実験について

【現状】

市内全域：隔測付電子式水道メーターを設置済み

湯の丸地区：平成28年度に電子メーターの隔測部分に無線機を設置

⇒現地でスマホ検針機と無線機を通信し、検針作業を実施。

【課題】

- 冬期に積雪により、スマホ検針機と無線機の通信に不具合が発生し、検針が不可能な状況が発生。
- 平成28年度以降に建設された施設には、無線機が未設置の状態。

湯の丸地区に設置されている水道メーターのスマートメーター化 (水道検針の自動遠隔化)

メリット

- ☆積雪による通信の不具合が解消される。
- ☆現地に行かないので、安心・安全に検針できる。
- ☆天候に左右されず定期的に検針が可能となる。(大雪により現地に行くことが出来ない。)
- ☆特に寒冷地における漏水などの異常を早期発見することができる。

今後の展望

- ☆検針員の高齢化・担い手不足への対策⇒検針困難区域への設置
- ☆別荘地帯では漏水等発見が遅れ、過大水量が多発⇒早期発見のため設置
- ☆地域のニーズに沿って、計画的にスマートメーター化を拡大
⇒拡大に当たっては、費用が増大することから、IoT化、デジタル化を推進する国の支援を活用。
- ☆他分野との連携事業 (お年寄り見守り機能など)